

やながわ眼科

柳川 隆志 院長
1998～2006年 井上眼科病院在籍
柳川 英里子 副院長
2004～2006年 井上眼科病院在籍



柳川隆志先生・英里子先生と、当院の井上(中央)。



明るい雰囲気の検査室には最新式の機械を取りそろえています。

今回紹介するのはさいたま市岩槻区はやながわ眼科。院長を務める柳川隆志先生と、奥様で副院長の英里子先生はともに井上眼科病院のOBで、柳川院長は在籍時、診療部長を務めていたことも。

「故・井上治郎先生からは眼科医としての心得を、若倉雅登前院長からは硝子体手術を勉強する機会を与えていただきました。両先生の薫陶を受けられたことは、現在に至るまで眼科医としての支柱となっています」(柳川院長)

「井上賢治先生が忙しい外来や手術の合間にも学会発表や論文作成などを精力的になさっており、私が論文に苦戦していたときも、先生の的確なアドバイスであつという間に仕上

がったのを覚えています」(英里子先生)

2007年の開院以来、「患者さま本位の医療」をモットーに地域医療に貢献し続け、今年で開院して10年という節目を迎える。現在、医院では大病院に劣らない設備を揃え、白内障、緑内障、硝子体、眼瞼などの日帰り手術を中心とした診療を行っている。また、患者さまに安心していただけるよう、バリアフリーなどの施設整備や、リラックスしてもらうような気配りも大切にしている。

「これからも、地元の患者さんに信頼される眼科でありたいと思っています」(柳川院長)

やながわ眼科
クリニック情報

〒339-0054 さいたま市岩槻区仲町 1-2-23 tel: 048-767-7007
ホームページ <http://www.yanagawa-ganka.jp/>

NEWS

◆ 当院が接遇大賞を受賞しました!!!!

このたび当グループが接遇マナーの優れた医療・介護施設などを表彰する「第2回日総研・接遇大賞」において、当院が接遇大賞を受賞いたしました。

接遇マナー・対応サービスについて、教育研修や現場での実践、独自の取り組みが審査されるにあたり、当院は、ユニバーサルデザイン導入による安全な施設作りや、ロービジョンケアなどをはじめとする「眼科病院だからこそできる接遇」をアピール。今後とも、眼科医療をけん引する施設として、職員一同さらに身を引き締め、当院の患者さまの立場に立った接遇を目指し努力してまいります。



◆ 入局医師のご紹介

お茶の水
澤口 真智子 (さわぐち まちこ)

眼科一般診療を行い、日々丁寧な診察を心がけていきます。どうぞよろしくお願いたします。

西葛西
芹沢 聡志 (せりざわ さとし)

眼科全般を担当しています。今までの経験をもとに、患者さまを中心とした最良の医療を提供できればと心がけています。どうぞよろしくお願いたします。

◆ 当院医師講演情報 ※受講料は消費税・設備費込みの金額です

大切な目を守ろう 講師：井上 賢治 (井上眼科病院院長)

場 所：よみうりカルチャー京葉 場 所：よみうりカルチャー大宮
日 時：2017/1/31(火) 日 時：2017/3/11(土)
14:00～15:30 10:30～12:00
受講料：2,376円 受講料：2,311円
お申込み・お問合せ： お申込み・お問合せ：
☎047-434-1125 ☎048-640-1110

老けない眼のつくりかた 講師：若倉 雅登 (井上眼科病院名誉院長)

場 所：朝日カルチャーセンター横浜 受講料：会員3,024円
日 時：2017/2/25(土) 一般3,672円
15:30～17:00 お申込み・お問合せ：
☎045-453-1122

井上眼科だより Inouye Eye Hospital NEWS

2017.01
vol.99



要注意!
冬から春の「眼のトラブル」

医療法人社団 済安堂 理事長 井上眼科病院 院長 井上 賢治

2017年となりました。私自身、今年で五十歳になりますが、「五十にして天命を知る。」という言葉があるように、自分の成すべき事を見定め邁進していく所存です。

昨年は6月に当院グループ初の埼玉エリアへの進出となる「大宮・井上眼科クリニック」を開院し、新たな挑戦となる一年でした。また昨年10月には当院が主催者となり、眼科看護師を対象とした第32回日本視機能看護学会を開催し、盛会のうちに終了しました。

本年は昨年の挑戦を生かしながら、引き続きグループ一丸となって、患者さまへの医療サービスの向上、地域医療の貢献を目指した診療体制に取り組んでいきたいと考えております。その中で、当院グループが3本柱として掲げる①早期発見②診療③ロービジョンケアにおいてすべて

の質を向上させるべく、職員一同励んでいく所存です。

また、井上眼科病院グループは「眼」の総合病院として、様々な疾患を総合的に診療できる充実した外来を整えています。様々な専門外来があり、幅広い治療や手術の選択肢があることを患者さまにより知っていただく必要があると考えています。定期的に行っている疾患別の説明会や、本紙の発行などもその一環であり、患者さまと接する機会を増やししながら、よりよい診療提供を目指していきたいと思っています。

今回の井上眼科だよりでは季節性の疾患をご紹介します。眼の健康管理はきわめて重要で、疾患を早く見つけ早く治療するということが大切です。是非ご一読ください。

ご意見・ご感想を

press-agent@inouye-eye.or.jp
までお寄せください

QRコードを読み取るとメールフォームが開きます



発行：医療法人社団済安堂 井上眼科病院
www.inouye-eye.or.jp
〒101-0052 東京都千代田区神田駿河台 4 丁目 3 番地
☎03-3295-0911

要 注 意 !



冬から春の「眼のトラブル」

冬から春にかけての目のトラブルといえば、乾燥によるドライアイ、そして花粉症をはじめとするアレルギー性結膜炎。毎年辛い思いをしている方も多いのでは。今回はその原因や対処法について詳しく解説します。

ドライアイ

PCやスマートフォン使用による目の酷使や、コンタクトレンズの長時間使用、ストレスなどに起因するといわれるドライアイ。空気が乾燥する上、暖房の使用が増える冬には特に注意が必要です。

症状・原因

症状は、目が疲れる、ごろごろする、乾く、痛む、充血する、まぶたが重い、見づらい、目を開けているのがつらい、など。原因には、涙の水分を作る涙腺の機能低下、涙の油成分の分泌減少、目の表面の水濡れ性の低下などがあります。放置すると症状が強くなり、見え方にも影響することもあります。

主な治療法

軽度の場合

人工涙液点眼、ヒアルロン酸点眼、ムチン(粘膜表面のねばねば成分)や、涙液の水分の分泌を増やす点眼薬による治療を行います。

重症の場合

涙が鼻に流れる部分にシリコン製の小さい蓋(プラグ)をして涙を溜まりやすくするか、その部分を焼いて塞ぐ治療を行います。涙の油成分を分泌している皮脂腺が詰まりかかっている場合は、瞼の縁のクリーニング、瞼を暖めてのマッサージ、炎症を抑える点眼薬などによる治療を行います。

アレルギー性結膜炎

本来無害なものに対してからだがか過剰に反応したものがアレルギーです。我が国では約2,000万人のアレルギー性結膜炎の患者さんがおり、その大半は花粉症によるものであると推測されています。

症状・原因

結膜は外からの刺激や異物にさらされやすい組織で、涙などでいつもぬれていますが、ハウスダストや花粉がくっつきやすく、アレルギーが起こりやすいのです。目のアレルギーの症状としては、かゆみが最も代表的なものです。次に多いのは異物感です。涙もよくみられる症状です。

主な治療法

目のアレルギーの治療には抗アレルギー薬が主に使われています。これは、アレルギー反応の中で、かゆみやくしゃみなどを引き起こす指令を伝える物質を抑える薬です。また、重症になるとステロイド点眼薬が用いられます。この薬は作用が強くよく効きますが、副作用もありますので、医師の指示に従ってください。また、予防として、日常生活での積極的なアレルギー(原因物質)の除去・回避が重要です。

〈外出時の注意〉

- メガネまたはゴーグル、マスクを着用する。
- 花粉飛散時期はコンタクトレンズからメガネへ切り替えるか、一日使い捨てタイプへ変更する。

〈室内での注意〉

- 湿気をためないよう換気する。
- 空気清浄機を設置する。
- カーペット・畳は避け、こまめに掃除する。

第32回 日本視機能看護学会学術総会を主催しました!

2016
10/1~2
開催!

テーマ:「眼科看護のこれから~予防・治療・ロービジョンケアを支える」

日本視機能看護学会は、看護分野における「眼科看護」に特化した学会で、過去には西葛西・井上眼科病院が主催したこともあり、第32回となる今回は、井上眼科病院が主催。全国から600名以上が参加しました。

今回の学会テーマは、当院が「眼の総合病院」として取り組んでいるテーマそのもの。当院理事長の特別講演や、山田信也先生(福岡視力障害センター)の教育講演では、それぞれに今後のロービジョンケアを深めていく発想がありました。シンポジウムでは、参加者から熱心な質疑応答が交わされ、新たな視点で議題をより深めることができました。また、当院からは看護師、薬剤師、管理栄養士な



学会にたずさわった当院職員。眼科看護のこれからに寄与すべく、今後とも邁進してまいります。

どが11演題を発表し、多くの参加者と交流を深めました。

ロービジョンケアをはじめ、手術看護、患者説明など、チーム医療における眼科看護の責務は拡大しています。当院では、今回の学会での経験を生かし、今後さらにレベルアップした眼科看護の提供を目指してまいります。



会場案内にディスプレイ付ペッパー君を導入。視機能看護×ITのあり方を深める機会に。

〈主な講演・シンポジウム紹介〉

- 特別講演: これからの眼科医療~予防・治療・ロービジョンケア~
演者/井上賢治(井上眼科病院) 座長/高野繁(日本眼科医会 会長)
- 教育講演: Low Vision Care-患者に寄り添う力、引く力、そして背中を押す力
演者/山田 信也(福岡視力障害センター) 座長/大音清香(井上眼科病院)
- シンポジウム1: 男性看護師だから、眼科看護に発揮できること
- シンポジウム2: 医療連携~看護師が関わるインフォームドコンセント~

患者さま満足度調査(お茶の水・井上眼科クリニック編)

当グループでは、基本理念である「患者さま第一主義」の実践を目的として毎年各施設で主に接遇に関する「患者さま満足度調査」を行っております。今回は、お茶の水・井上眼科クリニックで行った最新の調査結果を報告いたします。

「満足」とお答えいただいた患者さまは67%となり(図1)、スムーズな診療体系、充実した設備、検査員や受付職員の迅速・丁寧な対応などについて高い評価をいただきました。特に、医師の説明については86%の方に「わかりやすかった」とご回答いただきました。(図2)。

- 「親切な対応で安心して説明を聞いた」(70代女性)
- 「治療の方向性に関する説明が非常に明確だった」(60代男性)
- 「検査結果を踏まえた丁寧な説明にとっても信頼感があった」(50代男性)

一方で「不満足」の回答の理由として最も多かったのは「待ち時間が長い」という点。

- 「検査もあり仕方ないとは思いますが子どもが飽きてしまう」(小児患者の母親)
- 「検査の分担などはされているとは思いますが、さらに効率化が必要」(50代男性)

みなさまのご意見を職員一同で受け止め、より良い施設づくりをめざしてまいります。

図1 当院のサービスはご満足いただけましたか?

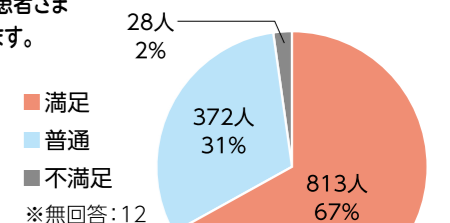
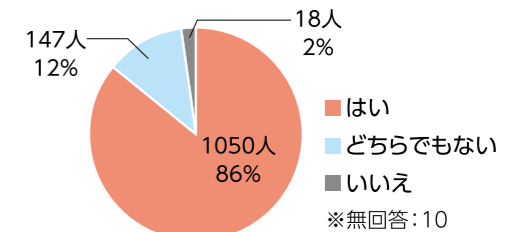


図2 医師の説明はわかりやすかったですか?



対象: 2016年8/1~10/8にお茶の水・井上眼科クリニックに来院された患者さまのうち、アンケートにご回答いただいた方1225人